



2024年1月10日

株式会社 阿波銀行

大歩危峡観光遊船有限会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、大歩危峡観光遊船有限会社（代表取締役 大平 修司、本社：徳島県三好市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	大歩危峡観光遊船有限会社
所在地	徳島県三好市山城町西宇 1520 番地
代表者	大平 修司
業種	旅館業
設立	1970年12月25日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2024年1月10日



大歩危峡観光遊船有限会社

代表取締役 大平 修司

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	ワークライフ バランス	社員の豊かなライフスタイル 実現のため、育児や介護と 仕事を両立しやすい環境を 目指します。	① 各種休暇を取得しやすい風土づくり	3 すべての人に 健康と福祉を
			② 各種休暇の年間最低取得日数を定め、 毎年の最低日数取得率を前年比20%向上	8 働きがいも 経済成長も
環境・ 経済	地産地消の 推進	地域産の材料・食品・ 製品などの地域資源を 積極的に活用し、地産 地消・地産外商を推進 します。	① 県産食材の使用	11 住み続けられる まちづくりを
			② 2027年までに地域産食材を70%以上使用	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
社会・ 経済	大歩危・祖谷 ブランドの発信	全国、海外から来県される お客さまに、地元大歩危・ 祖谷の魅力をご堪能 いただけます。	① 観光情報の発信	11 住み続けられる まちづくりを
			② 季節ごとにホテル公式のホームページやSNS 等で発信	12 つくる責任 つかう責任
環境・ 社会	おもてなしの 空間の提供	お客さまの安心安全を第一に 考え、快適に過ごせる空間を 提供します。	① ホテル建物・客室・大浴場・露天風呂の メンテナンス実施	3 すべての人に 健康と福祉を
			② 年2回のメンテナンス実施	6 安全な水とトイレ を世界中に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。